

はしもと市議会だより

SHIGIKAI PRESS

vol.75 / May 2023



高野口公園 桜ウィーク
撮影者：広報広聴特別委員会

3月定例会

2月27日から3月23日まで開催し、次の61件を審議しました。

市長提出議案57件

- ・ 条例の制定・改正案……………18件
- ・ 令和4年度各会計補正予算案……………13件
- ・ 令和5年度各会計予算案……………13件
- ・ そのほかの議案……………13件



委員会提出議案3件

- ・ 条例の改正案……………1件
- ・ 意見書案……………2件

請願1件

- ・ 学校給食費の無償化を求める請願

意見書案1件は修正可決し、その他議案59件はいずれも原案のとおり可決・同意しました。また、請願は採択としました。



4年度
補正予算

一般会計

【全会一致で可決】

保育園等送迎バス置き去り防止装置設置補助事業

令和5年4月より、児童送迎用バス等への安全装置の装備が義務付けられることから、国の補助金を活用し、送迎バスを保有する市内の認定こども園に対し、安全装置の購入補助を行うものです。

問 安全装置はどのような性能か。

答 標準仕様として、センサーが車内に置き去りにされた子どもを検知した場合、ブザーが鳴るようなものを想定しています。

問 対象のこども園は。また、何台分を予定しているか。

答 すみだこども園が2台、あやの台幼稚園、みついしこども園、輝きの森学園が各1台です。



杉村やすらぎ広場アンブレラスカイ

イベント委託料の全額を減額

問 このイベントは令和3年度に実施し、とても人気であつたのになぜ令和4年度はしなかったのか。

答 菊花展の50周年イベントがあり、駐車場が多くの来場者で混雑することを危惧し断念しました。

問 それらの理由は予見できたもので、実際はしっかりと段取りができていなかったからではないか。

答 各種イベントが再開し、結果的にアンブレラスカイを優先的に実行できなかったことは否めません。



例定 橋本市立学校適正規模・適正配置検討
条制 委員会条例 **【賛成多数で可決】**

橋本市立小学校及び中学校における児童生徒数の推移を踏まえ、将来の学校の適正規模・適正配置について幅広い見地から検討するため、検討委員会を設置するものです。

問 適正規模・適正配置を検討するうえでの課題は。

答 児童生徒数の変化や学校施設の老朽化、防災対策や教育条件の改善等に対応し、充実した教育環境を構築していく必要があります。

討論

× 原案に反対

小規模校は地域と連携した学習を実施しやすく、個別指導や補充指導などきめ細やかな指導を行いやすいことなど様々なメリットがあるが、本条例は統廃合を目的としているように感じるため、本案に反対する。

◎ 原案に賛成

適正規模・適正配置は最終的に議会が議決するものであり、現状を把握し、今後の適正規模・適正配置を検討していくために本条例は必要であることから、本案に賛成する。



**例定
条改**

橋本市立こども園条例及び橋本市立保育所条例の一部を改正する条例

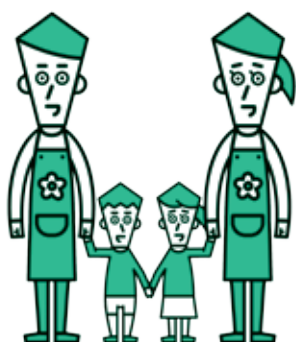
公設民営のこども園及び保育所の指定管理者が、個々の子どもに寄り添った適切で安定した保育サービスを長期的に提供できるようにするため、令和5年度以後に指定する指定管理者については、指定管理期間を現行の5年から10年に延長するものです。

問 指定管理期間を10年に延長することによる保育サービスへの影響は。

答 子どもの発達状況の把握やアレルギー食への対応、ケア等をより継続的に行うことができ、また、長期的に保育士等の人材育成期間を確保できるようになります。運営管理については、これまでと同様に5年ごとに総合評価と振り返りを実施します。

問 保育の質の向上や保育環境を把握するために保育士からアンケートを取ることも必要ではないか。

答 今後、保護者に加え保育士等にもアンケートを実施していきたいと考えています。



請願

学校給食費の無償化を求める請願

【全会一致で採択】

学校給食を通じた食育の推進及び子育て家庭の経済的負担の軽減により、子どもたちの健やかな成長を促進するため、市に対し学校給食費（保護者負担分）を無償とすることを求めるものです。

問 無償化に必要な予算はいくらか。

答 約2億円が必要になります。

問 無償化に関する市の現状と方針は。

答 経済的に支援を要する家庭など、一定の要件に該当する場合は給食費を免除していますが、すべての児童生徒の無償化は現在のところ考えていません。ただし、今後、国や県の動向により活用できる補助事業等が設けられ、財源を確保することができれば検討します。



令和5年度予算を審査可決

予算委員会の審査3日間の概要

一般会計 特別会計9 企業会計3 合計13会計

令和5年3月10日・13日・14日の3日間にわたり、予算審査特別委員会を開催し、各会計予算について審査を行いました。閉会日において、委員長が審査内容を報告し、いずれの予算についても原案可決しました。

また、委員会審査の様子は、YouTubeの橋本市議会チャンネルでご覧いただけます。



令和5年度 予算審査特別委員会				
委員長	樽井 豪男			
副委員長	杉本 俊彦			
委員	垣内 憲一	板橋 真弓		
	阪本 久代	土井 裕美子		
	堀内 和久			



一般会計



【賛成多数で可決】

質疑

問 災害時の物資備蓄について

答 災害備蓄計画に基づき購入して

り、食糧は令和8年度、毛布等資機材は令和13年度、折り畳みベッドは令和9年度に備蓄率100%を達成する予定です。



問 防災訓練の実施について

答 平成25年より市内を4地区に分けて実施していた地域

防災訓練は、令和元年度に終了しています。今後は訓練の仕方を見直し、避難所運営等の実用的な訓練や、市民の皆さんが自宅からでも参加可能な訓練をしたいと考えています。

まめちいき



Q 災害に備えて何日分の食品をストックすればいいの？

A 最低3日分、できれば1週間分ストックしておきましょう。

詳しくは市のホームページ等をご参照ください。



(橋本市ホームページ)

問 サマーボールは開催しないと断っていたが、一転して開催を決定した理由は。

答 区長会や子どもたちからサマーボールの開催を強く望む声があり、これまでより規模は縮小しますが、橋本市の活性化のため開催することになりました。コロナで苦しい期間が続きましたが、花火で市民の皆さんが元氣になれたらと思います。



問 橋本市公式LINEの情報発信について

答 約3,500人に登録いただいています。ブロック（市からの通知が届かないようにする）設定にされている方も多く課題です。利用者が欲しい情報を選択するセグメント配信ができるようにリニューアルし、利便性の向上と登録者数の増加に努めます。

問 子宮頸がんワクチン予防接種の取組みについて

答 国の通知により積極的な勧奨を差し控えていましたが、ワクチンの安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種の有効性が副反応のリスクを上回ると認められたことから、接種勧奨を再開し、接種者も増えています。子宮頸がんはワクチンで予防できるので、今後も啓発を続けていきたいと考えています。

問 パイル織物等の地場産品の発送にも橋本ふるさと便を利用できるようにならないか。

答 橋本ふるさと便は大変好評で、アンケートでも継続を希望する方が多く、国の交付金と産業振興基金を活用して継続します。農産物や加工品だけでなく、その他の地場産品にも活用可能か検討したいと思います。

問 結婚新生活支援事業補助金はすでに市内に居住している新婚世帯も対象となるか。

答 対象となります。住宅取得費用や賃貸費用だけでなく、敷金礼金等にも利用できます。



詳しくはこちら

問 セカンドブック事業について

答 4・5か月児健診時に絵本の読み聞かせとプレゼントを行うブックスタート事業に加え、1歳8か月児健診時にも絵本の読み聞かせとプレゼントを行い、読書活動を推進します。



問 隅田小学校のスクールバスの運行について

答 通学に利用していた民間バス路線の運行廃止に伴い2ルートを行行する予定です。河瀬・下兵庫ルートは朝3便、夕方3便、霜草・平野・山内ルートは朝1便、夕方3便を予定しており、運行時刻は学校と協議のうえ調整しています。



× 原案に反対

討論
市内居住の新婚世帯も対象の結婚新生活支援事業補助金ができた点は評価する。しかし、子どもの医療費助成制度の所得制限撤廃や学校給食費の無償化については、国や県の動向を見るとのことである。コロナ禍や物価高騰で市民生活が大変な時にもかかわらず消極的な予算になっているため、本予算案に反対する。

◎ 原案に賛成

夢あふれる施策はないが、全体としては橋本市の目指す将来に向け、地に足をつけた予算編成となっている。防災関係や教育の現場に対しての予算は評価でき、出産・子育て応援給付金やがん患者支援助成事業など、市民の要望に寄り添った予算が組まれているため、本予算案に賛成する。

特別会計



介護保険特別会計

【全会一致で可決】

問 地域ふれあいサロンについて

答 コロナ禍のなか、代表者の方がサロン開催に不安を抱いていることもあり、開催にあたっての感染対策の助言等を行っています。

後期高齢者医療特別会計

【賛成多数で可決】

× 原案に反対

討論
制度が導入された時は、最大9割軽減もあったが現在は7割軽減となり、令和4年10月1日から、一定以上の所得がある人の窓口負担が1割から2割になり、後期高齢者の負担が増えるばかりであるため、本予算案に反対する。

◎ 原案に賛成

人口減少や社会情勢に合わせて制度を変えていくことは必要であるため、本予算案に賛成する。

企業会計



病院事業会計

質疑

問 看護師を採用しても退職者が多い現状について

答 市民病院は地域の中核病院のため、急性期の患者が多く、多忙な仕事に疲弊し退職する人も少なくありません。

市民病院では、看護師に新しい技術や知識をわかりやすく伝えるなど、看護師の教育やモチベーションアップに力を入れています。看護師が定着できるよう、相談しやすい雰囲気、コミュニケーションが取れる職場づくりを目指しています。

水道事業会計

討論

× 原案に反対

水道料金が高いという市民の声をあらゆるところで聞いている。前回値上がりした水道料金のままの予算となっているため、本予算案に反対する。

◎ 原案に賛成

電気代の高騰など水道事業に要する費用は増加しているが水道料金は据え置きとなっている。また、老朽化している浄水場の施設設備、管路の更新事業等についても、設計の見直し等を行っているため、本予算案に賛成する。

【全会一致で可決】

【賛成多数で可決】

議案に対する議員の賛否状況（賛否が分かれたものを掲載しています）

○：賛成 ×：反対 △：欠席 キ：棄権

－：議長（議長は採決に加わりません。ただし、可否同数の場合に限り、可か否か、裁決権を行使します）

件 名	議決結果	賛成・反対 賛成 反対	岡	垣	南	森	板	辻	阪	高	石	土	杉	堀	小	樽	中	田	岡
			本	内	出	下	橋	本	本	本	橋	井	本	内	林	井	本	中	岡
			令	令	ポ	公	公	無	共	共	ポ	ポ	無	第	刷	刷	刷	第	第
令和5年度橋本市一般会計予算	原案可決	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
令和5年度橋本市国民健康保険特別会計予算	原案可決	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
令和5年度橋本市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
令和5年度橋本市水道事業会計予算	原案可決	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
橋本市立学校適正規模・適正配置検討委員会条例	原案可決	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
橋本市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○
工事請負契約の締結（議案第50号）	原案可決	14：2	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
学校給食の無償化を実現するために国の財政支援を求める意見書に対する修正動議	可 決	14：2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	－	○	○	○	○

議員名の下欄に各会派の略称を記載しています。

正式名称は、（共）日本共産党橋本市議員団、（刷）刷新クラブ、（公）公明党議員団、（令）令和クラブ、（ポ）ポーラスター、（第）第一義、（無）会派に所属しない議員です。



森 下 伸 吾

(公明党議員団)



魅力ある高野口公園の整備について

質問 高野口公園は紀北地方で有数の桜の名所であり、その山頂から見える景色は素晴らしいものがある。しかし、桜の木も老木期を迎えているものが多い。

さらに公園のシンボルである展望台「ロサリオン」は塗装がはがれ、サビているところもある。

魅力ある高野口公園の整備についてどのように取り組んでいるのか。

答弁 以前から高野口公園の桜の植え替えを行っており、

遊具や施設の老朽化については、展望台の改修、及び高野口公園を始め、他の公園の遊具についても有資格者による専門的な点検を実施するべく、係る経費を令和5年度当初予算に計上しています。

質問 展望台付近に駐車場を設置できないか。

答弁 新たな駐車場の設置につきましては必要性や用地、予算確保の課題等も含めて調査が必要と考えます。

学校の欠席連絡デジタル化について

質問 学校の欠席連絡デジタル化について

答弁 すぐにデジタル化を行う計画はありませんが、欠席連絡をデジタル化することにより、欠席者が多い時期には教職員の負担軽減を図れたり、保護者が時間を気にせず簡単に連絡を行えたりというメリットもありますので、今後、引き続き調査・研究を行っていきます。

デジタルに不慣れな方のスマホ活用支援について

質問 ①デジタル推進委員の現状について

②デジタル推進委員の拡大について

③地域の中学生が講師として活躍する取組みについて

答弁 ①民間事業者と連携したスマホ教室を行っており、その中にデジタル推進委員の任命を受けた方が数名いる状況です。

②募集案内を市のホームページに掲載し周知したいと考えています。

③中学生や高校生に講師として参加いただく機会を検討したいと考えます。



板 橋 真 弓

(公明党議員団)



「大人こそ絵本を読もう」絵本の力で橋本市を元気に！

質問 作家の柳田邦男氏は「絵本は人生に三度楽しめる。大人こそ絵本を読もう」と語る。「絵本専門士」が中心となって様々な振興活動を行い、絵本文化を盛り上げている自治体もある。本市の絵本文化の取組みと現状は。

答弁 4、5か月児健診時の親子を対象に家庭教育支援チーム「ヘステイア」が絵本の読み聞かせとプレゼントを行うブックスタート事業やママパパ教室、赤ちゃん広場等、様々な場所での読み聞かせや、絵本を手に取りやすい環境づくりのための取組みをしています。また、市内に民間の絵本館が開館するなど、絵本に親しめる環境は充実してきていますが、子どもとその保護者以外の大人の方にとっては、絵本に触れる機会は少なく、馴染みがない方が多いのが現状です。

質問 大人に向けた絵本文化の振興と「絵本専門士」の人材育成についての考えは。

答弁 図書館では、令和4年8月に年代を問わず読み聞かせを始めた人、本の選び方に悩んでいる人に向けて絵

本のボランティア講座を開催し好評を得ました。今後は大人向けの絵本の蔵書にも力を入れ、他市の絵本大賞やスタンプラリーなどを参考に楽しい催しを検討します。本市には「絵本専門士」の資格を有する人材がヘステイアに1名おり、企画の助言や講師などご協力頂きたいと考えています。また、職員の業務に必要な資格取得等にかかる必要経費は公費負担する考えであり、取得しやすい環境づくりに努めます。

今後市民が絵本に親しみ、豊かな心を育む文化の醸成に取り組めます。

ボランティアポイント制度の導入について

質問 介護支援のボランティア活動を通じて地域で交流し、支え合いの関係の構築を促す「ボランティアポイント制度」は、散歩補助や行事の手伝いといった介護ボランティアなどに参加するとポイントがたまり、商品券などと交換できる仕組みである。介護予防やポイント利用で地域活性化、介護人材の確保にも繋がると考えるが、本市の導入は。

答弁 元気な高齢者を中心に地域で様々なボランティア活動に取り組まれています。地域や団体を通じ既存の交付金や補助金制度により支援していきたいと考えていますので、現段階ではボランティアポイント制度の導入予定はありません。



岡本 安弘

(令和クラブ)



農業集落排水を公共下水道へ接続することについて

質問 ①4つの農業集落排水施設の経過年数と管理運営方針、②公共下水道への接続時期と接続替えに必要な事業費、③各家庭における負担(使用料)の増減、加えて受益者負担金の徴収の有無、④関係する住民等への説明状況、⑤上中・下中地区の接続に向けた進め方及び具体的なスケジュールは。

答弁 ①経過年数は供用開始から山田・出塔地区で約20年、吉原地区と西川地区で約22年、上中・下中地区で約25年が経過しています。農業集落排水を単独運営でなく、公共下水道への接続替えを進めていくという方針を立てています。②接続替えの時期と事業費は、吉原地区、山田・出塔地区は令和6年度を予定、事業費は吉原地区で約1億1千万円、山田・出塔地区で約8千万円、上中・下中地区は令和10年度を予定し、約3億円を見込んでいます。西川地区については、接続替えが可能かを含めルートの再検討を行っており、時期や事業費は未定です。③各家庭における使用料については、単純な比較が出来ませんが、農業集落排水

での料金と公共下水道での使用料に大きな差はありません。受益者負担金については、農業集落排水施設の権利を持つている方は徴収しません。④住民等への説明状況は、吉原地区、山田・出塔地区では令和元年10月に、上中・下中地区では、令和4年3月に説明会や回覧で周知しています。⑤上中・下中地区は令和5年度から2か年で詳細設計を行い、令和7年度から3か年かけて工事予定です。

質問 接続替えが完了した場合、各地区にある処理場はどうしていくのか。

答弁 接続替えが完了すると処理場としては機能廃止となります。国の補助金を活用し建設したのもので、償還期間を満了せず撤去すると補助金返還となるため、国に申し出て市の倉庫として使用を考えています。

質問 所管である水道環境部長としての考えや想いは。

答弁 施設の老朽化による維持管理費用や更新費用が増大するなか、経営状況は厳しくなっています。今後既存の施設をどう維持していくかが課題です。公共下水道や社会インフラなどの更新について難しい時節となってきましたが橋本市が一致団結して色々なアイデアを出しあって各課題に対応していかなければならないと考えています。

その他の質問 ▽本市の予防医学の考えや取り組みについて



南出 昌彦

(ポラスター)



福祉タクシーについて

質問 近年の対象者数・交付者数、及び利用状況の推移について

答弁 利用状況については、令和4年度は令和5年1月末現在、1,278人の対象者に対し658人に交付しており、4,226枚、26%の利用、令和3年度の対象者は1,343人で711人に交付し、5,050枚、28%の利用、令和2年度の対象者は1,347人で738人に交付し、4,803枚、26%の利用、令和元年度の対象者は1,304人で779人に交付し、5,325枚、27%の利用、平成30年度の対象者は1,332人で784人に交付し、5,947枚、30%の利用となっています。以上のように近年の福祉タクシー利用券の利用率は30%程度で推移しています。

質問 福祉タクシー券を交付されている方が複数人で相乗りした場合は、障がいのある方の経済的負担の軽減及び社会参加のための制度であれば、相乗りした方がそれぞれチケットを一枚ずつ利用できるように出来ないか。

答弁 一人当たり一乗車につき一枚の利用が可能となっていますので、複数



人相乗りした場合はそれぞれ一枚ずつ利用が可能です。

質問 福祉タクシー券を交付されていない付き添いの方や行き先が同じ方が同乗出来ることで、経済的負担の軽減及び外出の機会の拡大、福祉の増進に繋がると考えるが同乗出来るように出来ないのか。

答弁 障がいのある方がチケットをお持ちであれば、付き添い及び行き先が同じ方は同乗していただけます。

その他の質問 ▽橋本市の鳥獣被害対策について



土井 裕美子
(ポースター)



公立図書館建設について

質問 旧橋本市と旧高野口町との合併時の重点施策の3本柱の中で、実現していない施策は「図書館を核とした生涯学習施設の建設」です。

築60年以上経過している本庁舎の建設に必要な資金を積み立てる橋本市庁舎整備基金を令和4年9月議会において設置しましたが、本庁舎だけでなく、図書館が入っている教育文化会館や市民会館なども老朽化が進んでおり、シビックゾーンの観点から、今後の公立図書館建設についてのお考えをお聞かせください。

答弁 現在、具体的な図書館の建て替え予定はありませんが、図書館が配置されている教育文化会館も築47年を経過しており、庁舎の建設場所や規模を決める基本構想作成を令和14年に予定していますので、その2年前の令和12年から図書館も含めた具体的な検討に入ります。

質問 現状、過重のある図書館が教育文化会館の最上階にあるのも懸念するところですし、新しい図書館はシティセールの一つにもなります。後発で建設するのであれば、他の自治体の図

書館も参考にしながら、多くの方々の意見を聞く機会を作り、市民の望む図書館を作り出していきたいのですが、いかがですか。

答弁 教育委員会としても図書館建設は悲願でもあり、シビックゾーン検討時には関係部署とも協議していきま

(仮称)はしもと子どもまつりについて

質問 当初は、サマーボールの代わりとして子どもたちに楽しんでもらえるような企画をということで検討委員を公募され検討委員会を立ち上げられましたが、この祭りの趣旨と目的、また例年開催されている「まなびの日」との差別化についてお教えてください。

答弁 「まなびの日」は、大人が企画運営していますが、今回の祭りは子どもたち(中高大学生など)が企画し運営していくという事に焦点を置き、子どもたちが中心となり考え作り出していく子どもたちが主役の祭りにしていきたいと考えています。10月までに案がまとまれば来年度予算に組み入れていく予定です。



辻 本 勉
(会派に所属しない議員)



理工農系学部の新設・学部転換大学の誘致について

質問 文部科学省は、デジタルや脱炭素など成長分野の人材を育成する理工農系の学部を増やすため、私立大と公立大を対象に250学部の新設や理系への学部転換を支援する方針を固めたとの報道がありました。

本市は以前大学誘致に取り組んだ経緯がありますが、少子化が急激に進む中で、進出する大学も無く断念せざるを得ませんでした。今回は文部科学省が公募し、7年間にわたり1校あたり数億円(約20億円)支援する方向です。

本市の将来を考えた時、改めてこの制度を活用する大学の誘致に積極的に取り組んではどうか。

答弁 これまで、市の公費による大学誘致に関しては、財政的負担や将来にわたるリスク等を十分に検討する必要があることから、市による大学誘致は難しいとの判断を示す一方で、民間が事業主体となり、学校設立に向けた取り組みを進めていただくことは、本市にとって高等教育の裾野を広げるとともに地域の活性化など経済波及効果もあることから、市として可能な協力は検

討するとの考えを示してきました。文部科学省では、新たに基金を創設し、大学による「デジタル」「グリーン」等の特定成長分野の学部設置等を支援する事業案を公表しました。

今後、学部新設や移転を考える大学に対して、市として具体的にどう関与することが可能なのか、まずは国や県等関係機関から情報収集に努め、必要に応じて、国のポータルサイトを活用するなど情報発信についても検討したいと考えています。

国道371号バイパスの全面供用開始について

質問 工事の進捗状況は。

答弁 河内長野市石仏から(仮称)新紀見トンネルまでの4.7km区間は大阪府において事業が進められ、このうち石仏から天見までの3.4kmはすでに供用されています。残りの1.3km区間については、橋梁やトンネル本体工事は概ね完了し、現在、谷部の盛土工事やトンネル設備工事を進めていると聞いています。

質問 全面供用開始時期は。

答弁 2020年代前半の供用を目指すと大阪府から聞いています。(後の大阪府議会令和5年2月定例会における都市住宅常任委員会において、令和6年春の全線開通を目指すことが示されました。)



堀内 和久

(第一義)



橋本市の5年10年先の ビジョンについて

質問 前回、新たな橋を架ける夢のビジョンを提案したが、行政とは「夢よりも地に足をつけて」ということを強く信念に持っているようである。5年10年先のビジョンをどのように描いているのか、「地に足をつけての」成果と計画は。

答弁 本市は、硬直化する財政構造からの脱却のため、平成28年度から財政健全化計画を策定し、具体的な取組目標額を定め、健全化に取り組んだ結果、目標を上回る効果を上げることが出来ました。健全化の期間中においても、学校給食センターや学文路地区公民館、小中学校空調設備、たんぼ公園や杉村やすらぎ広場整備等のハード事業をはじめ、子育て世代包括支援センターの開設や共育コミュニティ活動の推進、生活支援体制整備事業として第2層協議体の設立など、ソフト事業においても、「住み慣れた地域で子どもから高齢者まで地域全体で支え合いながら安心・安全な生活をおくれるまちを目指す」協働の理念につながる取組を進めることができたと考えています。

す。今後の計画についても、令和5年度からの第二次橋本市長期総合計画後期基本計画に基づき、効果的に事業を展開していきたいと考えています。

市道神野々伏原南線修繕について

質問 市道神野々伏原南線は交通量が多いだけではなく医療、福祉の施設があり、緊急時に救急車が出入りする。最近では民間救急車も幅広く活躍し地域を支えている。老朽化してきたこの市道の修繕について問う。

答弁 当該路線には紀和病院が隣接し、緊急車両の通行が多い道路となっています。また、紀和病院は和歌山県広域受援計画における災害支援病院に位置付けられていることから、当該市道は重要な道路です。現状、舗装の劣化が進んでいる箇所が見受けられ、また排水路の問題により降雨時に雨水がたまり、通行に支障があることは認識しています。

当該路線は市民生活及び災害時には重要な道路として機能すべく対策を講じる必要があると考えますが、雨水対策として排水計画の検討が必要となり、計画内容によっては近隣土地所有者等の協力も必要となることから、改善に向け関係者と協議を行いながら早急に取り組みたいと思います。

その他の質問 ▽児童手当受給の在り方について



田中 博晃

(第一義)



橋本ワクワク大作戦 vol.4

質問 他自治体と比べてもヒケを取らない本市の子育て施策の発信内容は、市民向けである。さらに様々な内容を詰め込みすぎた欲張りセットとなり、見たい情報を探しにくい場合もある。子育て世代移住定住の観点から、手当や各種補助、医療費無償化などを市外の方にわかりやすく発信する「見せるHP」を考えるべき。

答弁 本市HP「はしっこ暮らし」に掲載していますが、市外の子育て世代にアプローチするには弱い内容なので担当課と協議しながら対応します。

質問 食品ロス削減マッチングサービスをDX推進の一つと位置づけ、プラットフォームを構築し、市内事業所や農家の方が利用できるようにしては。

答弁 情報収集を積極的に行い、関係各課及び関連団体等と協議を図りながら、食品ロス削減マッチングサービスの導入に向け前向きに検討します。

質問 防災はしもとTwitterは綿密な計画を立てた更新となっていると見受けられる。Twitterはしもとの時の最初の情報収集ツールだが、防

一般質問

災はしもとTwitterの登録者が少なすぎる。市内各所に二次元コードを配布し登録を促すべき。

答弁 出先機関を含め早急に対応します。

質問 情報発信の手段の一つとしてインフルエンサーと連携すべきでは。

答弁 インフルエンサーとの委託契約は今のところ考えていません。

質問 観光振興アドバイザーとして契約した方にはインフルエンサーとしての情報発信にも期待していたはずだが。

答弁 観光振興アドバイザーとして平野由香里さんに着任していただいています。平野さんにサイクリング系ユーチューバーを紹介していただき、その方々を通して間接的に情報発信しています。

質問 直接間接契約に関わらず、事業の性格が情報発信とリンクする内容ならば、民間活力の活用観点からもインフルエンサーの力を借りるべきでは。

答弁 その事業の性質が情報発信するのに効果的ならば、インフルエンサーと契約するかは別として、秘書広報課が核として取り組んでいきます。



岡 弘 悟

(第一義)



観光や産業施策などをもつ とニッチ(隙間的)に捉え、今 の価値観を見直すべきでは

質問 ニッチとは隙間などを意味する言葉であります。近年ではニッチツーリズムやニッチビジネス等、人が気付かない、多数派の目線ではなく少数派の目線で考え、新たな観光や産業を創出するという意味合いで使われるようになりました。

本市ではどうでしょうか。以前にも質問いたしました。『落ちるナイフはつかむべき』と言った考え方は出ているのでしょうか。もちろん行政と言うのは税金を使って事業を起こし運営しておりますので、その利用に対して慎重になり、多数派の考え方に流される傾向にあるのは理解します。ではその多数派の考え方でどのような実績、費用対効果が生まれたのでしょうか。以前にもお話いたしました。14年前にアニメ誘致の話を議場でしたとき笑いが起きました。馬鹿げていると笑われましたが、価値観は変わり今ではこそつて多くの市がアニメ誘致を行っています。本市では絶対にアニメ誘致はしないと強い意思をもって断られま

したのでその話はこの質問の中心にするつもりはありません。ただ、自分も含めた中での観光や産業の『価値観』が既に多数派の考え方になっていませんか。

『馬鹿げている』と言うのは簡単ですが観光や産業の価値観は現実を知って変えるのではなく、いずれこれが『現実』になるといった未来を見つめる目によって構築されなければ、成功を収める事はできないのではないかと考えます。

いま、皆さんが持っている携帯電話、スマートフォンも初めはニッチであり少数派の目線で造られたことに気づいていますか。その当時『馬鹿げている』と笑われたものが世界の中心になっていることに。

答弁 本市では様々な施策を行っていますが、少数派をターゲットにした施策は少なく、なかなか成果を上げられていません。ニッチ観光やニッチビジネスは本市にとっても重要課題だと考えています。アニメ誘致等様々な調査研究をしましたが実行には至りませんでした。和歌山市の成功が例にもあげられるように、これからは勇気と適切な判断が必要であると認識してまいります。



杉 本 俊 彦

(会派に所属しない議員)



人口減少時代に向けた 自主財源確保について

質問 本市の人口予想では6万人を切るのは2027年ということでしたが、2022年12月に5年も早く6万人を切りました。歳入がなければ、今後の市民サービスに不安を感じてしまっています。こんなにも人口減少が急速に進んでいるのに、市は自主財源を生み出す必要性をどう感じていますか。具体的に何をどうするつもりですか。

例えば、市有地や廃校を活用して一年中果物や野菜を生産できる広大な農園を作り、農園内にオートキャンプやグランピング、バーベキュー、アトラクション、宿泊施設、加工体験コーナー、レストラン、温泉、イベント広場等を設置した日本初の(仮称)地方創生橋本リゾートを作るなど、自主財源を生み出す施策が必要だと考えますが、市の見解はどうでしょうか。

答弁 本市の「自主財源」は市税、分担金及び負担金、財産収入、寄附金、繰入金、諸収入が挙げられ、令和3年度一般会計決算では市税収入が約69億4千万円と最も大きく、収入の23.8%を占め、次いで諸収入、繰入金、寄附金の順となっています。「自主財源の必要性」については市民サービスを低下させないよう、歳入の確保は重要課題であると認識しています。自主財源確保のための具体策として、本市では市内での雇用創出と市税収入の増加を目的に、企業誘致事業を進めており、平成17年度から令和3年度までの17年間で操業した41社の総計で1,364名の雇用が確保され、約17億7千万円の市税収入を得ることができました。さらに、あやの台北部用地での企業の操業も控えており、さらなる効果が期待できます。また、市税等の徴収率の向上、債権の適正管理、広告掲載やネーミングライツなどにより、財源確保に努めるとともに、本年度策定中の第三次橋本市行政改革推進計画では、「ふるさと納税の受け入れ推進」などについても、目標額を設定したうえで計画的に実施していきます。





高本 勝次
(日本共産党
橋本市議員団)



加齢性難聴者の補聴器購入費 助成制度について

質問 国立長寿医療研究センターは、「高齢期の難聴は、介護予防や生活の質を維持していく上でも重要」かつ「加齢性難聴は、本人が気づかないうちに徐々に進行することが多いため、聴力検診等で、早期発見する仕組みの構築が急務」と提言している。早期発見に向け、どのように取り組みますか。

答弁 聴力検査は、今のところ実施する予定はありませんが、早期発見のために医師を受診していただくことをお勧めしていきます。

質問 補聴器購入費補助制度は、120の自治体で実施している。補助制度を実施した自治体に、制度を実施したきっかけや、その効果などについて、調査されたのでしょうか。

答弁 島根県益田市と和歌山県紀美野町へ問い合わせましたが、今年度から制度を開始したこともあり、具体的な制度実施の効果等について聞くことはできませんでした。引き続き調査・研究していきます。

質問 厚労省は、難聴が「認知症」の危険因子の一つと挙げている。まずで

きることにして、聴力検査の実施を検討すべきではありませんか。

答弁 認知症と難聴との因果関係を国の方で調査しており、結果によっては国の方でも一定の助成制度ができるのではないかと思います。国と県の財政支援も踏まえて、それにもとづいた市の財政負担も含めて、総合的に考える必要があります。

福祉タクシー券の助成制度について

質問 今年度から100円券に切り替えた海南市では、前年と比べて利用者数は、ほぼ同数。利用額は36.2%増加した。利用額が増えたのは、自己負担が少なくなったので利用しやすくなったからです。100円券の実施は、約3割の増額になるが、本市の場合、どれ位の増額になりますか。

答弁 本市の令和3年度の予算は、約359万円で利用実績は、308万円でした。3割増しの予算だと約400万円になり、予算から見ると約40万円の増額が必要となります。

質問 差額が40万円であれば、使い勝手の良い100円券にしてはどうか。

答弁 引き続き近隣の市町村、全国の動向を見ながら研究していきたい。

その他の質問 新型コロナウイルス感染症について



阪本 久代
(日本共産党
橋本市議員団)



新生児の難病検査、橋本市も実施を

質問 早期発見すれば救命が可能になった2つの難病(重症複合免疫不全症と脊髄性筋萎縮症)について、新生児の検査体制に地域差があり、和歌山県ではいずれも行われていません。橋本市で実施することを求めます。

答弁 「重症複合免疫不全症」は感染症に対する抵抗力が弱く、感染症や生ワクチン接種で1歳までに亡くなることが多いと言われています。「脊髄性筋萎縮症」は全身の筋力が低下し、乳幼児期に発症する重いタイプの場合は、人工呼吸器をつけなければ2歳までに亡くなることが多いと言われています。2つの難病が新生児の先天性代謝異常等検査で早期発見できれば治療可能となり、改善も見込めることから、その必要性は十分理解しています。

厚生労働省母子保健課は、「公費での先天性代謝異常等検査に2つの難病検査を加えるか検討しており、検査の精度や治療体制の検証を進めた上で、判断したい」としています。今後、実施可能な医療機関の充実及び2つの難

病検査が公費の対象となるよう国や県に要望していきたいと考えます。

介護保険料の引き下げを

質問 介護給付費準備基金は第7期の3年間で約5億7千万円増えています。特に第7期の最終年度に約3億円増えています。基金を使って介護保険料を引き下げを求めます。

答弁 令和2年度において、現在の第8期介護保険料を算定しています。その際の人口推計をみると、75歳以上の後期高齢者の人口が令和12年にピークを迎えるなど、保険料は今後大幅に増加すると予想されました。

第8期保険料については第7期保険料よりも330円減額していたこともあり、基金の取り崩しによる更なる保険料の抑制は行いませんでした。

質問 令和4年度末では基金はいくらになりますか。

答弁 約11億5千万円の見込みです。

質問 平成27年度から基金は増えてきていますが、繰入なしが続いています。保険料上昇抑制にあてべきです。

答弁 第9期保険料以降、3年ごとの保険料算定時に1億円の取り崩しを基本としながら、慎重に保険料を算定していきたいと考えています。

その他の質問 △会計年度任用職員の募集について

議会基本条例の検証を行いました



議会基本条例（平成26年6月制定）は、橋本市議会の基本理念、議会・議員の活動原則、市民との関係など、議員や議会に関する基本的事項と、議会が果たすべき役割や進むべき方向を定めたものです。

議会基本条例に定めた目的が達成されているかどうか、この任期4年間の総括として評価し、今後の方向性について検証しました。

詳細については橋本市議会ホームページに掲載しています。



検証結果（一部抜粋）

評価：A（達成）、B（一部達成）、C（未達成）

条文（要約）	現状の課題、問題点 評価に際しての意見など	評価	今後の方向性
市政への市民参加を推進するため、多様な機会を設ける。	コロナ禍により、十分に実施できなかった。	B	
公聴会制度及び参考人制度を十分に活用して、市民の専門的又は政策的識見等を議会の討議に反映させるよう努める。	活用事例がなかった。	C	必要に応じ活用するよう努める。
市民に対する議会報告会を開催し、自由に情報及び意見を交換する。	コロナ禍により、十分に開催できなかった。	B	
議員報酬は、市民の負託を受けた議員の職務遂行に対し支給されるものであることを議員は自覚し、決定する。		A	不適切な理由や長期入院などによる欠席の場合の議員報酬の減額について、調査・研究を行う。
議会の政策立案能力を向上させ、議会活動を円滑かつ効率的に行うため、事務局の調査及び法制機能の充実を図る。	法制専門職員が不在である。	B	職員の増員など議会事務局の機能強化に努める。

議会からのお知らせ

information from assembly

新しい体制を決める 初議会(臨時会)を開催します



4月23日に行われた橋本市議会議員一般選挙により、5月1日から新議員の任期が始まります。

市議会議員改選後、初めてとなる議会を5月に開催します。ここで、議長や副議長の選挙などが行われ、新しい議会の体制が整います。



橋本市公式LINEから 議会情報を発信します!

橋本市公式LINEを友達追加し、市議会情報の受信設定をオンにすると、市議会情報を受け取ることができます。



橋本市LINE
QRコード

◆設定方法◆
【メニュー】
↓
【受信設定】
↓
【市議会情報】
を選択!

傍聴席の制限を なくしました

新型コロナの感染対策緩和に伴い、傍聴席の席数制限を解除しましたので、ぜひ議会傍聴にお越しください。

なお、体調がすぐれない場合はマスクの着用や、来場せずYouTubeでご覧いただくなど、これまで同様に周囲に配慮した対応をお願いします。

